

ワーク中心

プログラム番号 2501D

経験を学びにかえる —学生・若手職員に求められる能力を考える—

■講師

塩崎 俊彦（高知大学 大学教育創造センター 教授）

昭和 62 年 3 月，上智大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。専攻，日本文学。平成 19 年より高知大学大学教育創造センターで，FD 研修プログラムの作成・実施や授業支援に取り組む。総合科学系地域協働教育学部門教授。

■プログラム概要

学生の自発的な学びを促すためにアクティブ・ラーニングを導入した大学の授業が注目されています。インターンシップ等の学外での学びの機会も増えてきました。あるいは，スタッフ・ポートフォリオなどで自らの業務を振り返りながら，大学職員としての能力開発に繋げていく試みも見られるようになってきています。これらに共通しているのは，いずれも経験から得られた気づきをもとに次のアクションを起こす，という考え方です。

この研修では，「大学生や大学職員に求められる能力を考える」グループワークと「話し合いのプロセス」についての振り返りを通じて，経験のプロセスを見ることと，気づきを得るための振り返りについて，体験を通じて理解していただくことをめざしています。

1. オリエンテーション
2. グループワーク：30 分程度の課題達成型のグループワークを行います。
3. グループワークの振り返り
4. ミニ講義：「経験，プロセス，振り返り」

■主な受講対象

- ・授業にアクティブ・ラーニングの要素を導入している／しようと思っている教員。
- ・振り返りを職場の業務に活かしている／活かしてみたいと思っている職員。
- ・インターンシップなど課外の取組を学生の成長に活かしたいと思っている教職員。

※2時間の研修のほとんどがグループワークとなりますので，あらかじめご了承ください。

■本プログラムの到達目標

1. 大学生や大学職員に求められる能力について，理由とともに3つ説明できる。
2. 「話し合いのプロセス」に注目するために意識しなければならないことを説明できる。
3. プロセスについての気づきを本日の経験から説明できる。

■日時・場所

日時：平成29年8月25日（金）10：00～12：00

場所：徳島大学常三島キャンパス